



←火曜日の朝、一面白におおわれた矢切の渡しと、江戸川の向こうに見える東京の街も一面銀世界だった。画面左に見えるのがスカイツリー。

→寒々しいなかを、それでも舟は行く。さすがに客は少ない。

降るぞふるぞと、さんざん予報で驚かされていたが、やっぱり降った。

「天気予報って、だいたい大げさにいうんだよな。それだと外れても視聴者からせめられないから……」

常々、私はそういつてきたが、今回の予報はみごとに当たった。

気温3度以下の日が二日連続であったのは五十二年ぶりだそうだし、最低気温が六日連続で氷点下だったのはじつに三十四年ぶりだそうだから、この一週間はともかく寒かった。

そんな寒さのなかでも大相撲初場所は開かれていたが、一週間ぶりに会った船頭さんは、

「今年の大相撲は、おもしろくない」
いつもだったら、会うたびに前の日の取り組みが話題になったものだが、今場所は話題にもならない。

「稀勢の里がないんだもの。一年前はあんなに盛り上がったのが嘘みたいだ。二年前には琴奨菊が優勝して松戸の駅前でパレードをしたのに、それさえ色あせてしまった」

琴奨菊の所属する佐渡ヶ岳部屋は松

今週のクマ

→散歩に来たクマの母親のコーギーと出合って喜ぶクマ。



→雪の降った朝、矢切の畑に下りて見ると菜の花が雪の中でもけなげに花を咲かせていた。



戸市にある。そんな関係で優勝パレードが松戸駅前で行われた。

「左肩を負傷しながら千秋楽で勝って、取り直しの一番でも勝って、すごい盛り上がりだったのが、今場所は休場だったうんだからな、あの初場所はなんだったんだ、てなもんだよなあ」

もう一人の横綱の白鵬は張り手と肘打ちを注意されて三日目、四日目と連続負けをしたものだから、足の指をケガしたというので休場した。

「白鵬のケガもなんだか嘘っぽいんだよな。付き人の肩を借りないと歩けないとかいう話だったけどテレビに映された姿をみても、とても歩けないほどのケガをしたように見えないんだもの」

私は少し意地悪なのだろうか？ とにかくそう思えた。前から白鵬のかち上げは相撲の技ではなく、プロレスの技だと思っていた。だから好きではなかった。

今になって横綱審議会の委員長が「見たくない、美しくない」などといっていたが、白鵬のあの技は何年も前からやっていた技だ。これまで見逃していた横審もそうだけど相撲協会も部屋の親方も人気があるから見逃していたのだろうか。